入出庫入力・棚卸

倉庫別の商品在庫数を増減できます。倉庫間移動も可能です。
※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面　共通基本操作」を参照してください。

Point

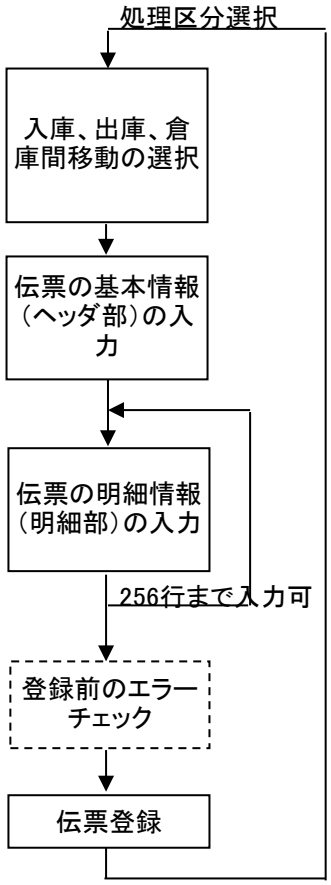
・入出庫入力することにより、以下の業務が可能となります。
① 売掛や買掛などの発生なしで、商品の在庫数増減が可能。

② 倉庫間移動による商品の在庫数増減が可能。

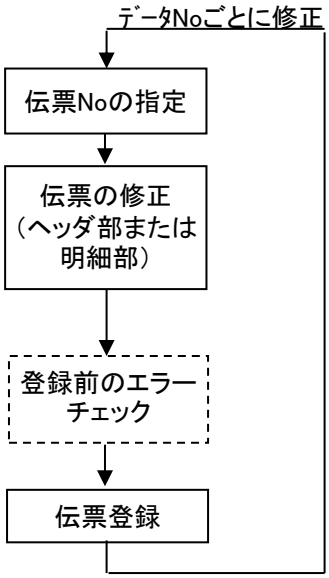
・処理区分で「棚卸処理」を選択し、帳簿数量と棚卸結果の差異数量を入力し、在庫数を調整できます。

1） 入出庫入力の操作の流れ

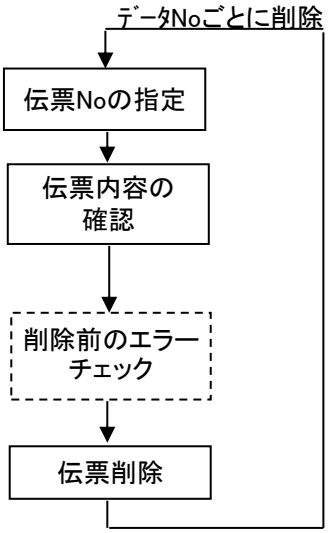
ⅰ）新規登録



ⅱ）伝票修正



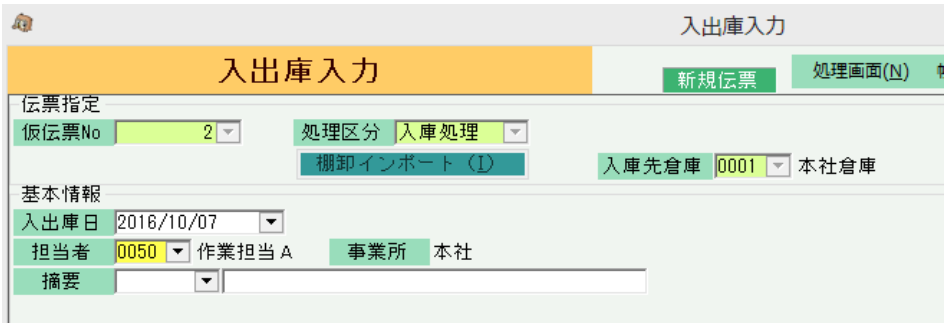
ⅲ）伝票削除



※入出庫伝票は伝票Noは重複可能ですので、
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

2） 基本情報（ヘッダ部） 項目の説明

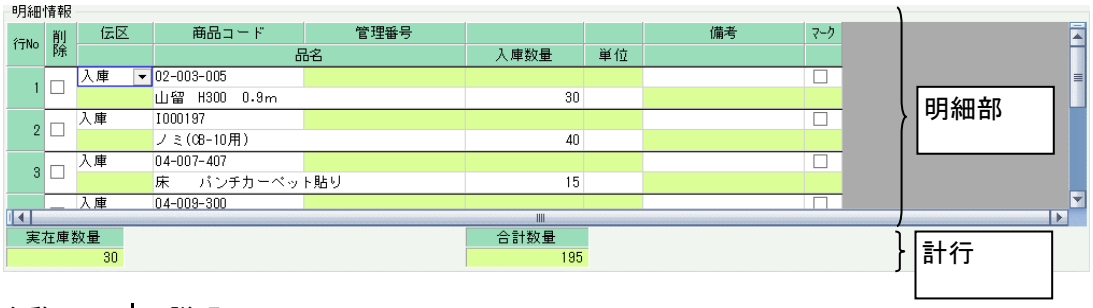
入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。



項目名称	説明
伝票No	入出庫伝票No。 採番管理登録の設定内容によっては重複することもあります。
処理区分	入庫、出庫、倉庫間移動、在庫振替から選択します。 棚卸で作成された棚卸差異伝票は自動的に出庫伝票となります。
出庫倉庫	処理区分が出庫処理または倉庫間移動の場合に指定できます。 出庫元の倉庫を指定します。
入庫先倉庫	処理区分が入庫処理または倉庫間移動の場合に指定できます。 入庫先の倉庫を指定します。
棚卸ｲﾝﾎﾟｰﾄ ボタン	新規モードで、処理区分で「棚卸処理」を選択している場合のみ、有効になります。 クリックすると、棚卸インポート画面が表示されます。 棚卸インポートについては 「6）棚卸インポート」 をご確認ください。
入出庫日	入出庫日（伝票日付）を入力します。 Point ・入出庫日には、運用設定で登録した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。 ・処理区分で「棚卸処理」を選択した場合は「棚卸日」にタイトルが変わります。
担当者	担当者を選択します。ログイン担当者が初期表示されます。 担当者を指定すると、担当者が所属する事業所名が横に表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が 変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。
摘要ｺｰﾄﾞ 摘要名	摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタを検索して選択可能。 摘要名は表示後に訂正可です。 Point ・摘要はマスタより選択しなくても任意の文字を直接入力することができます。 ・マスタより選択後に、摘要名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効 です。マスタ内容は変更されません。

3） 明細情報（明細部） 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の入出庫する商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には、商品ごとに1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。



項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番される。 256行まで入力可能。 「＊」マークの行は、まだ何も入力されていない行。
削除 （ボタン）	入力した行を削除する場合、この削除欄に マウスでチェックを入れます。 チェックを入れると行全体がグレー背景となり入力不可となります。 その状態で伝票登録すると、自動的に行削除されます。
伝区 （伝票区分）	選択した処理区分により以下の伝票区分が 自動的に指定されます。 ・入庫 ・・・ 入庫処理の場合に選択されます。 ・出庫 ・・・ 出庫処理の場合に選択されます。 ・入出庫 ・・・ 倉庫間移動の場合に選択されます。 ・棚卸差 ・・・ 棚卸により作成された差異調整伝票です。 伝区「摘要」手入力で選択して入力可能です。 摘要の場合は、任意の文字列を品名に入力可能です。 品名欄でF4キー押下にて、摘要マスタから 選択できます。その場合、品名に摘要名が設定されます。
商品ｺｰﾄﾞ	入出庫する商品ｺｰﾄﾞを入力します。コードの入力は必須です。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター覧より選択することも できます。 **Point** ・ｺｰﾄﾞを入力すると、商品マスタに設定されている 「品名」「単位」「単価」が自動表示されます。
品名	入出庫する商品名を入力します。 新規登録では、商品ｺｰﾄﾞ選択時に商品マスタの 商品名が初期表示されますが、表示後の訂正は可能です。 ※商品台帳や在庫一覧に印字される商品名は商品マスタの登録名称です。 **Point** ・品名は入力必須ではありません。 ・マスタより選択後に、品名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効です。 商品マスタ内容は変更されません。

項目名称	説明
単品管理 番号	単品管理する商品の場合は、単品管理番号を指定します。(必須) Point ・単品管理番号のタイトル名称は運用設定にて変更できます。
倉庫ｺｰﾄﾞ 倉庫略名	処理区分が「在庫振替」の場合に、指定可能です。
数量	増減する商品数量を入力します。 Point ・数量の入力は必須ではありませんが、在庫管理する場合は、数量入力がないと 在庫の増減はされません。 ・数量の小数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
単位	商品マスタの単位が初期表示されます。 手入力または単位マスタに登録した内容を選択することが可能です。
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
マーク (ボタン)	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけておく ことができます。 入出庫明細表の絞り込み条件にて、マーク(全て、有り、無し)を選択して出力することが できます。

4） 明細情報（計行） 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
計行では入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線（緑字）の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
実在庫数量	明細行を選択すると、その行の商品の実在庫数が表示されます。（帳簿在庫） 商品が、選択されている倉庫に登録されていない場合は、何も表示されません。 伝票登録時に実在庫数量で在庫割れチェックをしている場合、数量の文字が 赤字で表示されます。 Point ・実在庫数には現在明細行に入力中の数量も反映されます。 ・実在庫数量は同時入力端末の情報も含め、リアルタイム処理で集計されています。 ・倉庫間移動の場合は、出庫元倉庫の在庫数が表示されます。
合計数量	伝票の合計数量を表示します。

5） その他補足事項

・倉庫間移動した場合は、入出庫明細表では入庫数と出庫数の両方が出力されます。
商品台帳では伝区に「入出庫」と出力され、入庫先の倉庫と出庫元の倉庫に出力されます。
また、在庫一覧表で倉庫別に出力しなかった場合は入庫数と出庫数どちらにもカウントされます。

6） 棚卸インポート

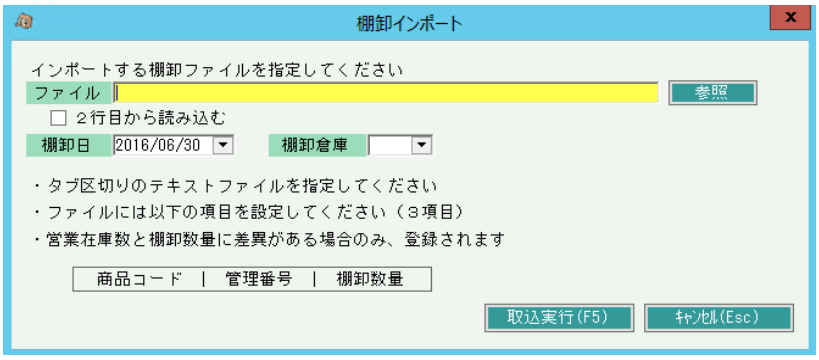
新規モードで処理区分に「棚卸処理」を選択時、棚卸インポートボタンが有効になります。
ボタンをクリックすると、棚卸インポート画面が表示されます。

あらかじめ用意した棚卸インポート用ファイルを取り込むことにより、棚卸処理データを自動作成でいます。

Point

- 以下の項目を、タブ区切りで用意した、棚卸インポートデータをあらかじめ作成してください。
  商品コード、管理番号、棚卸数量
- 単品管理する商品は、管理番号も必ず指定して下さい。
- 棚卸数量（実地棚卸数）と、営業在庫数の差異数が、棚卸差異数として登録されます。
  差異数が0の場合は登録されません。
- １つのファイル内に、同一の商品コード（単品管理する商品は、商品コードと管理番号の組み合わせ）は指定できません。

棚卸インポート手順：



① 用意した棚卸用インポートファイルのパスを、ファイル欄に指定します。
② 「棚卸日」を入力します。
③ 「棚卸倉庫」を指定します。
④ 「取込実行（F5）」ボタンをクリックすると、ファイルの取り込みが開始されます。